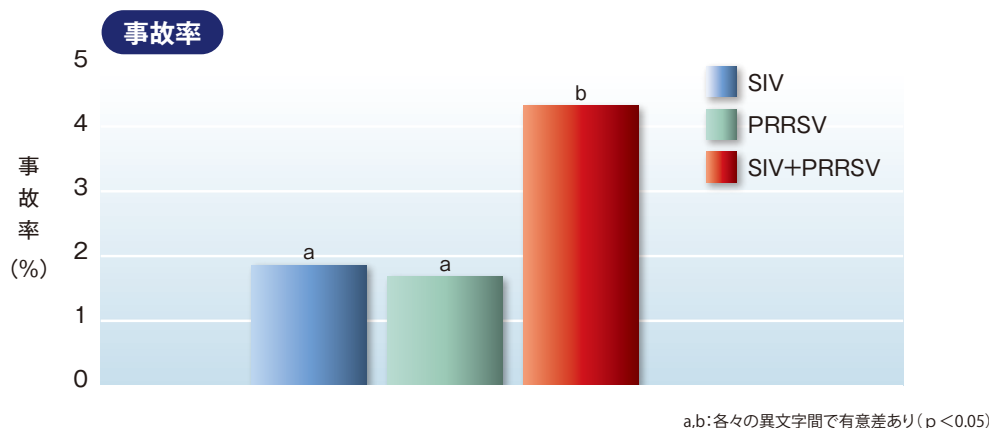


豚インフルエンザウイルスと PRRSウイルスの複合感染は 農場の生産性に大きな影響を与えます。

豚インフルエンザウイルス(SIV)単独感染、PRRSウイルス(PRRSV)単独感染及びSIV+PRRSV複合感染が生産性に与える影響を調べました。¹⁾

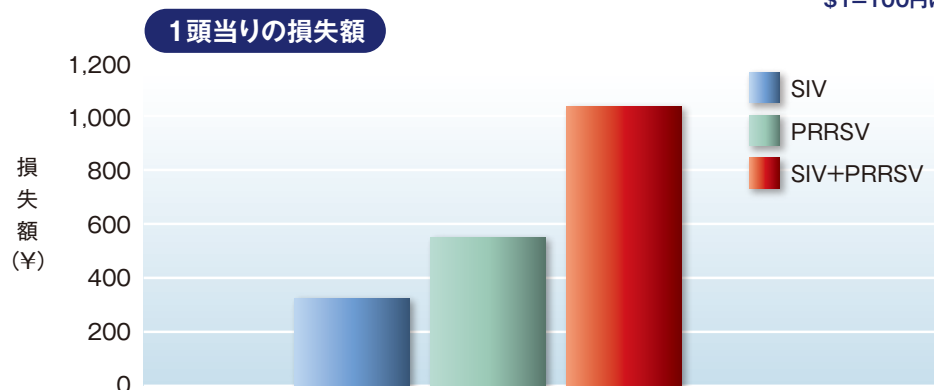
調査方法: アメリカの農場において、SIV感染農場、PRRSV感染農場及びSIV+PRRSV複合感染農場における生産性を比較した。調査期間は2007~2011年であり、アイオワ州立大学で実施された。尚、本試験は事故率(淘汰及び発育不良を含む)及び損失額により評価された。

SIV単独感染及びPRRSV単独感染と比較し、
複合感染では事故率が悪化しました。



SIV単独感染及びPRRSV単独感染と比較し、複合感染では
大きな経済的損失をもたらし、1頭当り約1,000円の損失となりました。

\$1=100円にて算出



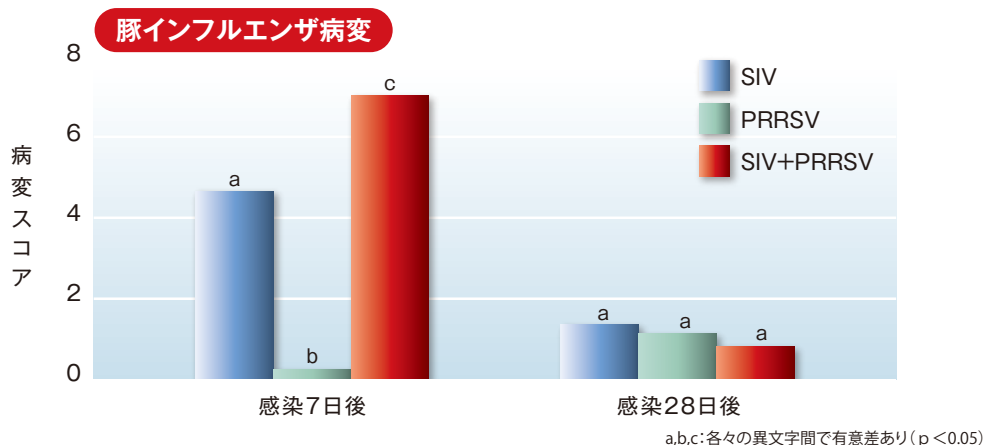
SIV+PRRSV複合感染農場における事故率と
経済的損失を軽減するためには、SIVのコントロールが重要です。

豚インフルエンザウイルスと PRRSウイルスの複合感染により 肺炎が重症化します。

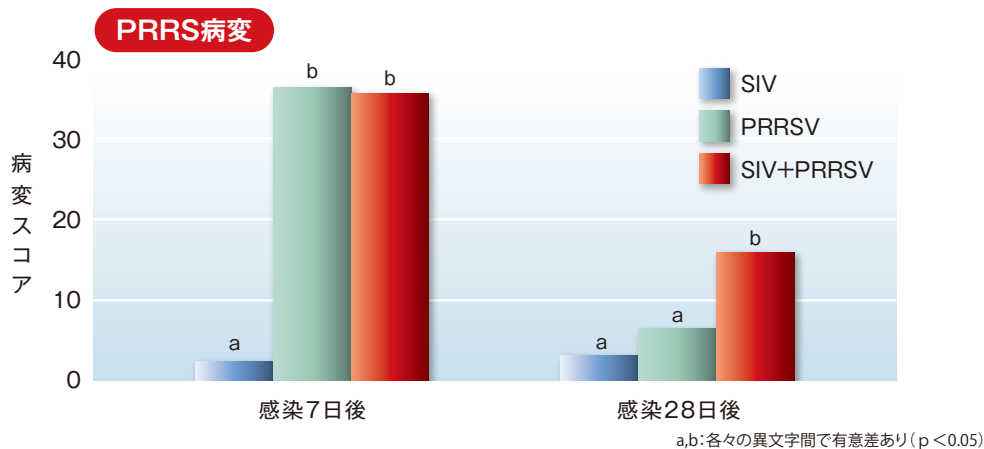
豚インフルエンザウイルス(SIV)単独感染、PRRSウイルス(PRRSV)単独感染
及びSIV+PRRSV複合感染における肺病変を比較しました。¹⁾

材料及び方法: SIV、PRRSV及びSIV+PRRSVを各々12頭の試験豚(7週齢)に人工感染させた。
感染7日後と28日後に各群6頭ずつ剖検し、肺病変を確認した。尚、本試験は肺病変面積
率(病変スコア)により評価された。

SIV単独感染と比較して、複合感染では
豚インフルエンザ病変が悪化しました。



PRRSV単独感染と比較して、複合感染では
肺病変の回復(感染28日後)が遅くなりました。



**SIV+PRRSV複合感染による肺炎の重症化を防ぐには、
SIVのコントロールが重要です。**